

令和2年6月1日

生徒・保護者の皆様

箕面学園高等学校  
学校長 大長庸祐

## 学校再開、1学期の始業にあたって

5月22日（金）、大阪府教育庁私学課より示された「教育活動の段階的な再開」の指針や「新型コロナウイルス感染対策マニュアル」（5月28日付）に基づき、本日、6月1日（月）より以下の通り学校を再開することといたしました。

再開にあたっては「3密（密閉・密集・密接）」の回避に十分留意し、感染防止のための対策に万全を期しますが、ふたたび臨時休業とならぬよう、生徒の皆さんの理解と協力を得て、学校での新しい生活習慣・行動様式の確立に努めて参ります。

また、本学園は2008年度より「30人（以下）学級」として、少人数教育に取り組んできました。その経験と利点を生かして、クラス単位での再開を優先することとし、6月13日（土）までの「スタートアップ期間」につきましては、「分散よりも時間短縮」による教育活動を実施することとしました。

ただ、本日より再開したとはいえ、授業時間数の補填や確保など取り組みの課題が山積しております。どの課題も猶予のないものばかりですが、本学園が「小さな学校」として育ててきた生徒や教師の日常的なつながりを優先し、その回復にまず取り組みたいと思います。もちろん生徒の皆さんは様々な不安を抱えているでしょうが、良識ある判断と節度ある行動をとってもらえるものと期待しています。私たち教職員も皆さんに誠実に向き合い、学校生活の再開の日々が平穏なものになるよう努めて参ります。

以下、「学校再開のスケジュールと検討課題」、「感染症対策の継続」、「出席停止の取り扱い」など、今後の教育活動について説明いたしますので、ご確認のうえ、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

### I. 学校再開のスケジュールと検討課題

#### 1. 段階的再開日程

##### (1) スタートアップ期間（第1週）

6月1日（月） 令和2年度1学期始業式

1年生 8：35（定刻）登校

2・3年生 9：50 登校

\*各教室、放送で行います。

- 6月2日(火) 全学年 定刻(8:35)登校開始  
1年生 オリエンテーション(2時間)  
2年生 HR・その他(2時間)  
3年生 臨時時間割による授業(40分×3限)
- 6月3日(水) 各種検診・身体測定  
1年生 女子 11:40 男子 12:40 登校  
2・3年生 8:35(定刻)登校  
\*詳細は別途連絡します。
- 6月4日(木) 1年生 オリエンテーション(2時間)  
2・3年生 臨時時間割による授業(40分×3限)
- 6月5日(金) 全学年 臨時時間割による授業(40分×3限)
- 6月6日(土) 振替休日(6/27・第4土曜日との振り替え)

## (2) スタートアップ期間(第2週)

6月8日(月)～13日(土) 全学年 臨時時間割による授業(40分×3限)

\*6月13日(土)まで、食堂の営業はありません。また、15日(月)以降の営業につきましては決まり次第連絡いたします。

## (3) 6月15日(月)より本格再開

通常授業(50分×6限)、部活動開始

## 2, その他の学習活動および部活動について

(1) 1学期の期間については6月1日(月)始業、8月8日(土)終業として、行事日程を検討・編成中です。

\*1学期中間考査を6月末に、期末考査を8月初めに予定しております。

\*授業日数や授業の補充は生徒の負担が加重にならないよう配慮して行ないます。

\*行事予定表は確定したものから順次お知らせします。

\*今年度は土曜日の取り扱いが変則的になります。

\*1年生体験実習講座、3年生小論文講座等、外部講師による講座については調整中です。

(2) 近距離での活動、密集する運動など、感染防止の措置が必要な教育活動の見直し。また同様の対応が必要な授業について、教科としての授業内容や年間授業計画、評価基準の見直し等を進めています。

(3) 部活動については6月12日(金)まで禁止とします。

\*ただし、メンタルおよびフィジカル面でのケアなど、部活動再開時に支障を来さないようにするため、ミーティングなど最低限の指導については届け出のうえ、許可します。

\*なお、状況等の変化に応じて活動開始時期を早める場合もあります。

## Ⅱ. 感染症対策の継続と人がつながる場としての学校のあたらしいあり方

文部科学省「学校の新しい生活様式」(2020.5.22 Ver.1)には「基本的な感染症対策の実施」上の3つのポイントが改めて示されています。

### 1, 感染源を絶つこと

- ・健康状態に留意し、体調に不安のあるときは登校しない。
- ・登校前の家庭での検温
- ・登校時に発熱等、風邪の症状が見られる生徒の帰宅指導

### 2, 感染経路を絶つこと

- ・飛沫感染、接触感染の経路を絶つための①手洗い(長く、何度も、丁寧に)、②咳エチケット(マスク着用)、③消毒(ドアなど手を触れる機会の多い箇所、共用するものを)

### 3, 抵抗力を高めること

- ・「十分な睡眠」、「適度な運動」、「バランスの取れた食事」

また、「集団感染のリスクへの対応」として

### 1, 換気の悪い密閉空間

### 2, 多数が集まる密集場所

### 3, 間近で会話や発生ををする密接場面

という3つの条件(3密—密閉、密集、密接)が重なる場所で高まる集団感染リスクを低減し、「ゼロ密(換気の徹底・身体的距離の確保・マスクの着用)」を目指すこととしています。そのためには学校や特に教室での新しい行動様式が求められるのが、これらを学校で実行するには相当の注意と、なによりも強い覚悟を要します。

しかし、その負担が大きいためからといって共同の学びを縮小、あるいは断念するのではなく、良識と節度ある行動によって、人とつながることの豊かさが実感できる学校であり続けたいと思います。そのため校内施設や設備、備品等の使用時の注意も行動の場面ごとに随時行なうこととなります。皆さんにお願いすることが多くなりますが、安全を確保するためには生徒の皆さんの協力のもとより、ご家庭のご協力が不可欠であることをどうかご理解ください。

## Ⅲ. 学校再開に伴う「出席停止」等の取り扱いについて

臨時休業期間、登校日の欠席等の扱いは状況に応じて弾力的に行なっておりましたが、学校再開後は「授業日数」のうち「出席すべき日」と感染症による「出校停止とすべき日」の別を明確にしなければなりません。つきましては

1. 本人の感染が確認された場合
2. 本人および家族が感染者の濃厚接触者と特定された場合
3. 大阪コロナ追跡システムにより、立ち寄った施設でのクラスター発生の通知があった場合
4. 発熱等の風邪の症状がある場合
5. 保護者から感染が不安で休ませたいと相談があった場合

について、学校としての取り扱いの判断、生徒・保護者の皆様への対応の要請等をする必要があります。1・2・3につきましては学校への連絡、保健・医療機関などからの指示に従って対応してもらうことになりませんが、4・5につきましても十分配慮・対応すべき状況であると考えております。基礎疾患等がある場合はもとより、不安を抱えておられることについてもご相談いただきますようお願いいたします。

#### IV. おわりに

緊急事態宣言が解除され、世の中は日常を取り戻し始めています。しかし、正しい恐れは持ち続けましょう。そして正しい知識を持ちましょう。学校は学びを共有する場です。その学ぶべき事のなかには不変の知識もあるでしょう。しかし、いままさに起こっている事柄、動いている事態に対して私たちがどのように向き合うべきかという主体的な態度を学ぶべき時もあるのです。生徒の皆さんが長い臨時休業期間中に見聞きし、考えたことを無駄にせず、貴重な教材として共有することができれば、どれほどうれしいことでしょうか。そして強い倫理性をもって、無知が生み出す偏見や差別を退けることのできる人になってほしいと思います。

そして最後に、皆さんをお願いします。異例の事態の中にあっても平常を保ってください。引き続き、規則正しい生活習慣と健康の維持を心がけてください。特にこころの健康維持に努めて下さい。そのために、(1)日課を設定する、(2)同じ時間に起きる、(3)日の光を浴びて心を落ち着かせる時間をもつ、(4)同じ時間帯に運動、食事をとる、というような生活習慣が求められます。臨時休業期間中にこれらのことをやかましく言われた人もいるでしょう。しかし、皆さんのなかにはこのうちのいくつか、あるいは全部からほど遠い生活を送っていた人もいないではないでしょうか。

しかし、これらは実は普段のあるべき生活習慣であって、臨時休業期間中の特別な心得ではありません。そして今後、これらは自分一人のためのことではなく、人とともに暮らす、人とともに生きる社会を形成するためにも必要なことなのです。「異例の事態の中で平常を保つ」というのは、「異例な事態」を言い訳にせず、どんな状況においても自分の日常の生活をただしく律するということです。

終息が見えない状況にあって、再び休業を余儀なくされる事態が起こるだろうことは容易に想像できるでしょう。その時に私たちは無防備な人間ではなく、日常を磨き上げて、抵抗力のある人間になっていきましょう。新型コロナウイルスによって強いられる「分断」に対して、人間はどのようにして人のつながりの豊かさを取り戻していくのか。この難しい課題をたててそれに取り組む。私たちはそのような人間にならなければならないということなのだと思います。

これが学校再開にあたって私たちが皆さんに期待していることです。生徒、保護者の皆さん、私たちとともに頑張ってください。